

倉二だより

学校だより冬休み号

令和2年12月25日

舞鶴市立倉梯第二小学校

コロナ禍における終業式 ～きまりを守り第3波の厳しい12月を乗り切った子どもたち～

12月25日(金)、無事に第2学期の終業式を終えることができました。暑さ厳しい8月21日にスタートした2学期。87日間という長丁場を、コロナ感染状況が厳しい中を、子どもたちは毎日元気に登校してくれました。これもひとえに、保護者・地域の皆様のご理解とご支援のおかげです。本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。(毎日の見守りもありがとうございます。)

この2学期もなかなかコロナは終息せず、12月に入ると全国的に過去最高の感染者数になったという報道が連日流れ、学校においてもできる限りの対策を取りながら教育活動を進めてきました。校長として幾度も「延期か中止か縮小か」の判断を迫られる場面があり悩みました。その際大切にしてきたことは、①子どもたちの安全・安心 ②すぐにあきらめず工夫して開催する道はないのか ③子どもたちや保護者の皆様に喜んでもらいたい この3つです。規模や内容を縮小して実施した修学旅行、野外活動、運動会。「できただけでも嬉しい!」と言ってくれた子どもたちの言葉が何よりの救いでした。音楽学習発表会と人権学習参観は2部制での実施となりご迷惑もおかけしましたが、第3波襲来の前に実施することができ、子どもたちの感動的な歌声をお聴きいただき、大きな拍手がいただけたことは本当に有難い事でした。

この他、文化庁「夢いっぱいコンサート」に応募し、京都フィルハーモニー室内合奏団の生演奏が聴けたこと、SDGs(持続可能な開発目標)未来都市に選定された舞鶴市と吉本興業(株)のコラボによる「お笑い出前授業」に6年生が参加できたことは大きな励みとなり、「すごくラッキーや。頑張ったらしいこともあるな。」と言っていた子どもの言葉からも伝わってきます。

そのような中、やむなく中止にさせていただいた行事もあります。「しめ縄づくり教室」と「花いっぱい運動」です。寂しい思いをしている子どもたちのためにと、早くからもち米の藁や球根をご準備いただき、予定も開けていただいていたいました。本当に申し訳ありませんでした。

明日からはいよいよ冬休みです。旅行や帰省、大勢での飲食等は自粛ですが、子どもたちは家族で過ごすクリスマスやお正月をととても楽しみにしています。皆様お元気で過ごされること、この冬休みが有意義なものとなりますことを祈念しています。よいお年をお迎えください。

校長 榎本 ゆかり 教職員一同

校長ひとり言

人権月間を終えて感じた子どもの心、純粋さ!

大勢の人間が一緒にいるから毎日色々あるけれど、自分の言動を素直に振り返り、善悪の判断ができ、相手を思いやることができる子どもたちに育てたい。

一人一人の人権が守られる学校を創りたい!

素敵な倉二小になるかどうかはあなた次第です。

人権月間のまとめとして全校児童にこのようなメッセージを伝えました。偉そうに語っていますが、色々反省すべき点の多い自分自身へのメッセージでもあります。



5年



3年

人権月間のまとめとして12月3日(木)に低・高学年別に行った「人権お話し会」。

校長講話、児童会や各学級の取組、人権学習や道徳の授業から学んだこと、感じたことを代表の児童がしっかりと伝えました。その言葉や姿から、各学級の人権に対する学びの様子を知ることができました。

最も感心したのは、これまでの自分自身を振り返り、今後一層、一人の人間として高まりたいと考えているところです。大人でも自分の欠点を認め、改めることは容易ではありません。又、倉二小の現状として悲しいことや悔しい思いがゼロになっているわけでもありません。何かあれば、どの事象にも真剣に対応し、頑張ろうとする倉二っ子とともに少しずつですがよい学校を創っているというのが本当のところではあります。

紙面の都合で低・高学年から1名ずつの作文となりましたが別紙にて紹介します。一部抜粋ではうまく思いが伝わりませんが、前文掲載でお伝えします。

人権月間11/10～12/3 ～一人一人が持つ人権について考えました～

一人一人が持つ大切な人権について考える人権月間では、人権学習(参観日)をしたり、児童会の「ほめほめシャワー」の取組で、日直に対してその人のよさやがんばっていることなどを終わりの会で伝えたりなど、様々な学習や活動を通して「人権」について考え合いました。そして、低・高学年別の「人権お話会」を行いました。人権月間で学んだことを発表し合い、その後交流をしました。子どもたちはこの人権月間で、自分や友達のよさを見つめたり、友達を大切にすること、「おかしいこと」に気付き、行動を起こすこと、相手の立場に立って考えることの大切さなど、多くのことを考え、話し合いました。人権月間で学んだことを「月間」だけで終わらせず、今後の自分の意識や行動につなげてほしいと願っています。



ブックトーク ～本の楽しさを伝えていただきました～

西図書館から司書の方に来ていただき、いろいろな本の楽しさを伝えていただきました。読み聞かせではなく、テーマを決めて、いろいろな本の魅力、読む楽しみなどを紹介していただきました。子どもたちは終始、息をのんだり、わくわくしたり、「続きを読みたい。」と思う素敵な時間でした。ブックトーク終了後、教室においていただいた本を早速開き、読む楽しさを味わっていました。読書離れが叫ばれる中、子どもたちに本の魅力をたくさん伝えていただきました。



5年生心の健康 12月21日 ～スクールカウンセラーによる学習～

保健の学習の一環として、スクールカウンセラーの角隆司先生にお世話になり、心の健康についての学習をしました。いつも緊張して張り詰めていたら疲れる、いつも緩みっぱなしもよくないということ、上手に緊張と緩和(リラクセス)を使い分ける方法を教わり、実際に体験しました。気持ちのいい緊張のさせ方、緊張の後のリラクセスのさせ方など、ストレスの上手な解きほぐし方について学びました。今後、悩んだり、ストレスを感じたりした時に心と体を開放させるためのストレスマネジメントの方法として、生かしてほしいと思います。



【児童の感想より】

- 運動をやる前とやった後を比べるとやった後の方がすごく楽になった気がしたし、ねるときなどにこれをやったらすぐねれそうだなと思いました。それとスッキリした気分にもなれました。「心と体はつながっている」ってことは何となく聞いたことがあって、気分を変えようというときは体をリラックスするといいということを知りました。これからも運動をもっとたくさんして、心と体の健康を保ちたいです。
- 私は夜にねられない時やストレスがたまっている時にどうすればいいか分からなかったけど、心の健康の勉強が終わって、不安がある時やきんちょうした時に教えてもらったことをやろうと思いました。もしストレスがたまっていると友達に言われたら、今日教えてもらったことを言ってあげようと思いました。

子育て支援事業「しめ縄教室」「花いっぱい運動」は中止になりました。

「しめ縄教室」の準備をお世話になった元字行永会、「花いっぱい運動」の球根を準備してくださった女性の会の皆様に感謝申し上げます。

子育て支援協議会の事業の一環として「しめ縄教室」を例年開催し、元字行永会の皆様に丁寧に教えていただき、子どもたちは立派なしめ縄を作っていました。しかし今年度は新型コロナウイルスの感染予防のため中止となりました。元字行永会の皆様には早くから予定を入れていただき、材料の準備までしていただいたおかげです。準備いただいた皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。本校でも日本の伝統文化が脈々と受け継がれている陰に元字行永会の皆様の支えがあってこそと改めて痛感しているところです。「花いっぱい運動」も例年、南舞鶴女性の会の皆様にご指導いただき、球根を植えておりましたが、こちらも感染予防のため、皆様に来ていただくことがかなわず、1年生の子どもたちが担任と植えました。南舞鶴女性の会の皆様には球根の手配などお世話になりました。ありがとうございました。春になったら色とりどりのきれいな花を咲かせます。みんなで楽しみに待ちたいと思います。

なお子育て支援事業として例年1月に実施しておりました「料理教室」についても、本年度は中止となりましたので、ご了承いただきますようお願いいたします。





4年「手話講座」12月4日

総合的な学習の時間「福祉～今自分にできること～」の一環として、4年生が聴覚障害のある方の体験談や思いを聞いたり、支援方法である手話を学んだりすることで、障害のある方の理解をし、寄り添ってサポートをしようとする態度を養うための学習をしました。日常生活での体験談を聞く中で、昔は手話ではなく口話（口の形を見て話しの内容を理解する。）だったので、コミュニケーションが大変であったこと、音ではなく光で知らせる道具があることなどを知り、子どもたちは驚きや発見があったようです。学んだことをワークシートにまとめ、今後、発信していく予定です。出前講座に来ていただいた舞鶴市聴覚言語障害者地域活動支援センター「つるの会」の皆様、舞鶴市身体障害者福祉センターの皆様、大変お世話になりました。



SDG 発信事業～お笑い出前授業～ 12月8日

「SDGs 未来都市」に選定された舞鶴市が、先進的な取組の一環として、吉本興業とコラボし、楽しみながらSDGs（持続可能な開発目標）について学ぶ機会として6年生対象に出前授業を実施することとなりました。舞鶴市の小学校で2校だけの実施でしたが、本校で実施していただくことになり、子どもたちも大喜びでした。



漫才やお笑い講演会、クイズなどで、楽しみながら、笑いを通じてSDGsについて解説していただきました。「イギリスのバッキンガム宮殿では、普段私たちが使っている『ある物』が使えません。それは何でしょう。」や「広島県のあるパン屋さんではお店をリニューアルして、食品を捨てることと働く時間を減らすことに成功しました。さてどんなことをリニューアルした（変えた）の



でしょう。」など子どもたちの身近な生活に置き換えたクイズを通して、分かりやすくSDGsの取組を説明していただきました。漫才や講演などが終わった後は、感謝の気持ちを伝えるために手作りのメダルを渡したり、記念写真を撮ったりしました。楽しい時間はあっという間でしたが、笑いの中にも私たちの生活に問いかける大切なメッセージが込められていました。田畑藤本様、黒ラブ教授様、舞鶴市広報聴課の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

倉二パトロール隊の皆様 今学期もお世話になりました。



2学期も倉二パトロール隊の皆様には、毎朝、横断歩道や交差点などで児童の登校の安全確保やあいさつなどの声かけをお世話になりました。残暑厳しい8月にスタートした長い2学期も季節は移ろい、寒さの厳しい季節となりました。暑い日も、雨の日も風の日も、雪の降る日も子どもたちの安全な登校のためにご尽力をいただきました。雪の降る日には横断歩道やその周辺の

雪かきもお世話になっています。心より感謝申し上げます。3学期も引き続き、たいへんお世話になりますがよろしく願いいたします。



体育館の一文字幕

体育館の正面上方に校章の入った一文字幕がありますが、色あせ、外れかかっています。舞鶴市に修繕の要望をしたところ早速に新しくしたものを張っていただきました。集会での校長先生の「何か変わったところはありませんか。」という問いかけに、多くの児童が手をあげて、気付いていました。大切に使用させていただきます。



【青葉中学校区小中一貫教育】

6年生の児童、保護者を対象に、青葉中学校体験入学と保護者説明会があります。子どもたちは、生徒会の先輩から学校生活についての説明を聞いた後、各教科の教室に分かれ、中学校の先生の授業を受けます。いよいよ中学校への進学が目前に迫ってきました

1月16日（土）14:00開始（受付13:30）
終了時刻（保護者15:25 児童15:40）